科目名 Subject	生命活動概論 Overview of Life Activities			教員名	大西　典子	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎	○	○			
科目の概要	良好な健康状態を保つためには、様々な環境の変化に対して心身が柔軟に適応することが重要である。 その適応のしくみを知ることは、質の高い美容をめざすうえで大切な知識となる。 本科目では、美を内面から磨くための知識となり、健康づくりの観点から人の美を提案することができることを目的としている。					
授業方法	対面授業 ただし、状況によりオンライン授業（Zoom）					
授業の目標	・生命とは何か説明できる。 ・ホメオスタシスとは何か説明できる。 ・ストレスとは何か説明できる。 ・ホメオスタシスやストレスを制御する仕組みを美容と関連させて説明できる。 ・環境の変化と心身の適応に関わる自身の問題を主体的に捉え、その解決策を想定できる。					
時間外学習（予習・復習）	各回の小テストや課題について授業内容を整理しながら予習・復習する（60分）					
教科書・教材	教科書	日本エステティック協会　新エステティック学ー理論編Ⅰ　教育研究委員会　2010年				
	教材	なし				
	使用設備・備品	なし				
	参考文献	田近英一『地球・生命の大進化』、杉春夫『ストレスとは何だろう』他				
評価方法	小テスト（５０％）、定期試験（５０％）					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。					
履修上の注意	他の人の意見を傾聴し、個人の意見や感想を述べる姿勢をもつ。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション	講義の進め方、概要を理解する。	Textを読み生命とは何の予習をする。（60）
第２回	生命の起源について学ぶ。	生命の定義や生命の起源を説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第３回	体温調節について学ぶ。	体温調節のしくみが説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第４回	血糖調節について学ぶ。	血糖調節のしくみが説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第５回	塩化ナトリウム調節について学ぶ。	塩分調節のしくみが説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第６回	血中カルシウム調節について学ぶ。	血中カルシウム濃度調節のしくみが説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第７回	ホメオスタシスを維持する末梢のしくみについて学ぶ。	皮膚、細胞、神経の作用を説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第８回	ホメオスタシスと神経・内分泌系のしくみについて学ぶ。	自律神経・内分泌機関の作用を説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第９回	ホメオスタシスと免疫系のしくみについて学ぶ。	免疫のしくみと役割を説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第１０回	免疫系とアレルギーのしくみについて学ぶ。	免疫とアレルギーの違いが説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第１１回	ホメオスタシスとストレスのしくみについて学ぶ。	ストレッサーがホメオスタシスを乱すしくみを説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第１２回	心理的ストレッサーについて学ぶ。	心理的ストレッサーの心身への影響を説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第１３回	ストレスと病気の関係について学ぶ。	ストレスによって生じる心身の病気について説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第１４回	ストレス対処行動と美容の関連について学ぶ	ストレス対処行動と美容の関連が説明できる。	資料やノートの整理をする。（60）
第１５回	生体反応時間軸について学び、全体のまとめを行う。	生体反応の時間軸と美容の関係が説明できる。	全体のまとめをする。